

頚椎の手術(前方)を受ける患者さんへ



患者名		様		担当看護師								
経過	入院日(手術2日前)	手術前日	手術当日 (手術前)	手術当日 (手術後)	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後6～7日目	術後8～14日目	術後15日目～
日付	/	/	/		/	/	/	/	/	/ ~ /	/ ~ /	/
患者の 達成 目標	・ 不安の軽減ができ、手術にのぞむことができる		・ 体温、脈、血圧が安定する		・ 内服薬等で痛みを軽減し、苦痛なく過ごすことができる ・ 合併症(血栓、麻痺)がなく経過できる		・ 内服薬等で痛みを軽減し、苦痛なく生活やリハビリを行うことができる ・ 病棟内歩行ができる				・ 内服薬等で痛みを軽減し、苦痛なく生活やリハビリを行うことができる	・ 退院に向けて準備ができる
	・ 必要に応じて、顎の装具を確認します		・ 朝6時に洗腸をすることがあります ・ 血栓予防のために病院で準備した弾性ストッキングを履きます(看護師が行います) ・ 術着に着替えます		・ 手術中に手術創内に血が溜まらないように管が入っています ・ 術後、顎に装具を付けていることがあります		・ 手術創内の管を抜きます(術後1日目もしくは、術後2日目) 		・ 医師が毎日診察します			・ 術後10～14日目を目途に手術創の保護材を外します
検査					・ 採血があります 						・ 術後7日目に採血、レントゲンがあります 	・ 術後14日目に採血、レントゲンがあります 
薬剤	・ 普段使っている飲み薬、貼り薬、塗り薬をお持ちください(病院で同じものをすぐに用意できない場合があります) ・ 【手術2日前に入院した方のみ】寝る前に下剤(便を出す薬)を飲みます			・ 持続点滴と抗生物質の点滴を1日3回行います	・ 抗生物質の点滴を1日3回行います	・ 痛み止め(坐薬、筋肉注射、飲み薬)を追加して使うことができます						
食事	・ 食事があります	・ 別紙で説明します		・ 絶飲食です ・ おなかの音、おならの有無を確認したあと、お水が飲めます	・ 昼食から流動食を開始します	・ 朝食から3分粥になります	・ 朝食から5分粥になります	・ 朝食から7分粥になります	・ 朝食から全粥になります	・ 手術前と同じ食事になります 		
安静活動	・ 特に制限はありません			・ ベッド上安静です	・ ベッド上に座ることができます ・ 顎に装具を装着し、医師と歩行器で初回歩行開始します(術後1日目もしくは、2日目)				・ 手術創の痛みや状態に応じリハビリを開始します 			
排泄	・ 特に制限ありません			・ 手術中に尿管を入れます	・ 状況に応じて、尿管を抜きます							
清潔	・ シャワー浴できます		・ シャワー浴はできません		・ 看護師がタオルで体を拭きます(術後1日目、3日目) ・ 洗面用の蒸しタオルを朝、夕お渡しします 				・ 手術創にテープを貼ったままシャワー浴ができます			
患者家族への説明	・ 担当医、麻酔医が手術、麻酔について説明し、同意書をお渡しします ・ 手術部位の誤りがないよう、手術の部位に医師がペンで印をつけます ・ 看護師が入院、手術準備について説明します ・ マニキュア、ジェルネイルは入院前に落としてください ・ 入院中、転倒・転落に注意して下さい		・ 手術中、ご家族に貴重品の管理をお願いします ・ 手術待合室は本館3階にあります		・ 医師が術後の説明をします ・ 手足の屈伸運動を寝たまましましょう		・ 痛みが増強するときは看護師へお知らせ下さい ・ 飲み込みにくさがなければ、随時食事形態の変更が可能です。(看護師へご相談下さい) ・ 尿管を抜いた後、数時間あるいは数日経って残尿感や尿が出づらいことがあれば看護師に知らせて下さい ・ 医師、薬剤師が退院後の生活やお薬に関する説明をします ・ わからないことがあればお尋ね下さい					

※この予定表はあくまでもおおよその目安です。個々の身体能力、体調等により手術後の経過は様々です。この表より達成が遅れると治りが悪いということではありません。

※ご不明な点はお気軽にスタッフにおたずねください。